

事業所名

児童発達支援・放課後等デイサービススタートライン

支援プログラム（東大阪市提出用）

作成日

7年

4月

8日

法人（事業所）理念	毎日笑顔で ～子ども達が笑顔で安心して過ごせる第3の居場所～		
支援方針	子どもを主体とした支援を行い、生き生きと活動できる環境を提供していく。子どもの成長を保護者と共に感じ、共感出来るようにしていく。		
営業時間	9時	30分から	18時30分まで
	送迎実施の有無	○ なし	
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	生活リズムを安定させ、整えることで気持ちや情緒の安定を図る。心身の健康状態の把握。 ライフスキルトレーニングやクッキングなど生活訓練を療育活動に取り組んでいる。	
	運動・感覚	身体を動かして、気分転換を図りながら楽しくサポートしていく。色々な感覚に対して、上手く適応できるように身体の使い方を支援していく。 一人一人の特性に分けて様々な運動プログラムを立てて実践していく。	
	認知・行動	小集団でのゲーム遊び→戦略を考えながら取り組むことができる。 コグトレーニングの活用→レベルに合わせた課題を毎日こなす事で認知学習をアップさせる。	
	言語 コミュニケーション	相手に自分の考えを伝えていく。「ありがとう」や「おはよう」「さようなら」などしっかり相手に伝えることができる。	
	人間関係 社会性	一人一人が相手の立場に立って、物事を考えるよう役割を持たせていく。（集団でのマナーやルールを覚えさせていく。） 個人の意志を尊重し、様々な遊びや集団遊びなど、自由に過ごせる空間を提供しています。	
家族支援	子育ての困りごとの相談支援。 兄弟姉妹への相談支援。 保護者同志の交流機会の提供	移行支援	将来的な移行を見据えた目標や支援内容を設定。 学校や関連機関との情報共有や支援へのすり合わせ。
地域支援・地域連携	併用事業所や学校との情報連携、支援方法や環境調整の相談援助	職員の質の向上	事業所の運営に係る資格取得研修への派遣。
主な行事等	月1回の保護者、学校との懇談会実施。（情報提供、共有） お花見、クリスマス会、ハロウィン、誕生日会、遠足、調理実習、ワークショップなど		

【公表方法】

- インターネットに掲載（URL： _____）
 その他（具体的な方法： _____）

《注意》

「事業所における基本情報」及び「支援内容」が網羅されていれば、独自様式を使用しても差し支えありませんが、本市に提出される際には【公表方法】をお示しください。